



神を仰ぎ 人に仕う

Chapel News

2023年4月28日

No.2

アーメン

「アーメン」というのは、キリスト教に馴染みのない人も、結構聞いたことがある言葉ではないかと思います。これは、「まことに」「真実に」という意味の言葉で、万国共通のもので。またこの言葉は、旧新約聖書にしばしば出てきます。

この言葉は主として、礼拝において共に神さまを賛美する祈りの最後に唱えられるものです。そのようにして、「心からその祈りに同意します」という思いをこめて、祈りを一つに合わせて神さまにお献げするのです。個人で祈る場合も同じく、「イエス・キリストのみ名によって祈り願います。アーメン」と祈りを結びます。

とある教会の、話題になったツイートを拝借して言うならば、アーメンとは今風に言えば、「それな」とか、関西弁で言えば「ほんまそれ」とか、オリンピックで有名になった女子カーリングチームによって流行した「そだねー」ということにもなるかもしれませぬ。

それはともかく、このアーメンという言葉は、ご自身が「アーメンである方」(黙示録 3:14)である、私たちのまことの救い主イエス・キリストに行き着きます。イエスさまは、「わたしは道であり、真理であり、命である」(ヨハネ 14:6)と言われました。イエス・キリストがアーメンである方、真実な方であることは、十字架と復活のみ業によって示されました。また、そのことによって、この世の死をも越えて神の真実の中に生かされる新たないのち、まことのいのちが私たちに示され、もたらされました。これらのことは、私たちが、イエス・キリストをまことの救い主として受け入れることによって現実のものとなります。

全学礼拝で声を出ることができるようになったら、以上のようなアーメンのこころを覚えつつ、祈りの最後には一緒に「アーメン」と声を合わせていただきたいと思います。

(人文学部チャプレン 柳田 洋夫)

2023年度 年間聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。 (ローマの信徒への手紙 第5章3～4節)

2023年度春学期全学礼拝 4月11日(火)～7月28日(金)

全学礼拝は火曜日～金曜日です。春学期の月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分～15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続きキリスト教センターホームページでの文書礼拝配信となります。

聖学院教会祈祷会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくはみ名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
国とちからと栄えとは
限りなくなんじのものなればなり アーメン



★全学礼拝時には以下についてご協力をお願いいたします★

- * チャペルでのマスクの着用
- * 席は詰めすぎずに着席
- * マスク着用での讃美歌の歌唱、主の祈りの唱和



5月9日(火)

— 学生の証し —

証し 河野 安奈(心理福祉学科4年)
司会者 山口 博
奏楽者 渡辺 善忠

前奏
讃美歌 494 番 1 節
聖書 エレミヤ書 29 章 11 節
(旧約 P1230)

祈禱
奨励 「すべてが私を作るものになる」
祈禱
讃美歌 494 番 3 節
主の祈り
後奏

5月10日(水)

奨励者 山口 博
(聖学院院長・キリスト教センター所長)
司会者 洛雲海
奏楽者 相川 徳孝

前奏
讃美歌 205 番 1 節
聖書 コリントの信徒への手紙一
11 章 23～29 節(新約 P314)

祈禱
奨励 「主イエス・キリストから
受けたもの」
祈禱
讃美歌 205 番 2 節
主の祈り
後奏

5月11日(木)

奨励者 柳田 洋夫
(人文学部チャプレン)
司会者 木村 太郎
奏楽者 ングワー路津子

前奏
讃美歌 329 番 1 節
聖書 マタイによる福音書
4 章 18～22 節 (新約 P.5)

祈禱
奨励 「捨てるということ」
祈禱
讃美歌 329 番 3 節
主の祈り
後奏

5月12日(金)

奨励者 木村 太郎
(心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 村上 野花

前奏
讃美歌 240 番 1 節
聖書 創世記 4 章 1～9 節
(旧約 P.5)

祈禱
奨励 「問いかける神」
祈禱
讃美歌 240 番 2 節
主の祈り
後奏

今後の全学礼拝(文書)奨励者のご案内

文書礼拝配信は、キリスト教センターのホームページからアクセスできます。

聖学院キリスト教センター  

- 5月16日(火) 久保哲哉先生 (聖学院中学校高等学校チャプレン)
- 5月17日(水) 田中かおる先生 (日本キリスト教団安行教会牧師、本学講師)
- 5月18日(木) 渡辺善忠先生 (日本キリスト教団巢鴨教会牧師、本学講師)
- 5月19日(金) 小林茂之先生 (日本文化学科教授)
- 5月23日(火) 和田光司先生 (欧米文化学科教授)
- 5月24日(水) 山口 博先生 (聖学院院長・キリスト教センター所長)
- 5月25日(木) 宮本 悟先生 (政治経済学科教授)
- 5月26日(金) 鄭 鎬碩先生 (政治経済学科教授)
- 5月30日(火) R.ローランド先生 (欧米文化学科准教授)
- 5月31日(水) 竹井 潔先生 (政治経済学科特任教授)
- 6月 1日(木) 片岡宝子先生 (日本キリスト教団東中通教会牧師)
- 6月 2日(金) 石井佑二先生 (日本キリスト教団遠州教会牧師)

◇ キリスト教と諸学の会 ◇

<日時> 5月24日(水) 10:40～12:10 (アセンブリアワー)

発表者 : 杉淵 洋一先生(日本文化学科准教授)

会場 : 教授会室

発表題 : 「秋田の近代化にディサイプルス派の伝道が果たした役割について
——雑誌『種蒔く人』の出版と宣教師たちの活動との接点を探る」

(要申込)申込期限 : 5/13(土)

※「キリスト教と諸学の会」の講演申込は、QRコードまたは下記 URL よりお申込ください。

<https://forms.office.com/r/TJv2jS8Lw1>



次回のChapel News 発行日は、6月2日(金)です。